



平成26年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月12日

上場会社名 株式会社 東京ドーム
 コード番号 9681 URL <http://www.tokyo-dome.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年12月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 久代 信次
 (氏名) 小田切 吉隆

TEL 03-3811-2111

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第3四半期の連結業績(平成25年2月1日～平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第3四半期	62,325	1.7	10,098	15.6	8,252	21.0	7,513	36.0
25年1月期第3四半期	61,264	13.2	8,738	99.1	6,821	216.0	5,523	—

(注) 包括利益 26年1月期第3四半期 13,534百万円 (120.5%) 25年1月期第3四半期 6,139百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第3四半期	39.40	—
25年1月期第3四半期	28.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年1月期第3四半期	307,199	73,970	24.1	387.98
25年1月期	300,690	61,455	20.4	322.19

(参考) 自己資本 26年1月期第3四半期 73,970百万円 25年1月期 61,455百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年1月期	—	0.00	—	—	—
26年1月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年1月期の連結業績予想(平成25年2月1日～平成26年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	△0.9	10,000	3.7	7,300	△1.5	5,500	40.5	28.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 東和工建(株)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年1月期3Q	191,714,840 株	25年1月期	191,714,840 株
26年1月期3Q	1,060,970 株	25年1月期	972,248 株
26年1月期3Q	190,717,449 株	25年1月期3Q	190,626,413 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、連結業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P.4「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要.....	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	1 0
(4) セグメント情報等	1 1
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	1 2

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間において、プロ野球やコンサートイベントが好調に推移したことに加え、グループ全体としても集客数・客単価ともに堅調または好調に推移しております。

その結果、売上高は623億2千5百万円(前年同四半期比1.7%増)となりました。

以上の結果、営業利益は100億9千8百万円(前年同四半期比15.6%増)、経常利益は82億5千2百万円(前年同四半期比21.0%増)、四半期純利益は75億1千3百万円(前年同四半期比36.0%増)となりました。

セグメント(セグメント間の内部売上高又は振替高を含む)の業績は、以下のとおりであります。

<東京ドームシティ>

(東京ドーム)

東京ドームは、コンサートイベントの開催が順調に推移したこと、またポストシーズンゲームを含むプロ野球の集客が好調だったことにより増収となりました。

(東京ドームシティアトラクションズ)

東京ドームシティアトラクションズは、サンダードルフィンの営業再開や自主興行が好評だったことにより、増収となりました。

(東京ドームホテル)

東京ドームホテルは、大型イベントの開催やインバウンド等、団体旅行客の効率的な受注により客室稼働率、客単価ともに順調に推移し、増収となりました。

(ラクーア)

ラクーアは、東京ドームシティ内のイベントが好調だったことや、テナントの大幅な入替えが好評だったこと、また、スパのリニューアル効果もあり、増収となりました。

(ミーツポート)

ミーツポートは、来街者数の増加はありましたが、TOKYO DOME CITY HALLの稼働日数減少により減収となりました。

以上の結果、東京ドームシティ事業全体での売上高は467億7千5百万円(前年同四半期比3.7%増)、営業利益(セグメント利益)は119億9千8百万円(前年同四半期比7.2%増)となりました。

<流通>

ショッピングインは、大阪エリアにおいて大型テナントビルの新規オープンなどによる競合店の出店などの影響を受け伸び悩みました。

以上の結果、売上高は54億5千5百万円(前年同四半期比3.1%減)、営業損失(セグメント損失)は△5千6百万円(前年同四半期比5千3百万円の減益)となりました。

〈不動産〉

松戸公産㈱が、昨年度に取得した賃貸ビル「柿の木坂BMWビル」の賃貸収入が売上増に寄与したものの、㈱東京ドーム所有の「相模原ビル」におけるテナントの解約があり減収となりました。

以上の結果、売上高は11億2千7百万円（前年同四半期比3.5%減）、営業利益（セグメント利益）は3億8千4百万円（前年同四半期比22.6%減）となりました。

〈熱海〉

熱海後楽園ホテルは、台風によるキャンセルも発生しましたが、高稼働、高単価で推移し増収となりました。

以上の結果、売上高は32億8千5百万円（前年同四半期比3.2%増）、営業利益（セグメント利益）は2億2千万円（前年同四半期比82.7%増）となりました。

〈札幌〉

東京ドームホテル札幌は、観光客数の増加などにより、単価、稼働率ともに回復し、増収となりました。

以上の結果、売上高は21億6千万円（前年同四半期比3.9%増）、営業利益（セグメント利益）は3千6百万円（前年同四半期比4千7百万円の改善）となりました。

〈競輪〉

松戸競輪場は、競輪場賃貸収入が伸び悩みましたが、運営受託収入の増加により、増収となりました。

以上の結果、売上高は20億3千7百万円（前年同四半期比17.6%増）、営業利益（セグメント利益）は4億7千3百万円（前年同四半期比3億4千2百万円の増益）となりました。

〈その他〉

東和工建㈱の全株式を売却したことにより、同社を連結範囲から除外いたしました。

以上の結果、その他事業全体での売上高は22億5千6百万円（前年同四半期比25.4%減）、営業利益（セグメント利益）は1億1千2百万円（前年同期比42.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、株価の上昇による投資有価証券の増加により3,071億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ65億8百万円の増加となっております。

なお負債は、社債の償還をしたことから2,332億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ60億6百万円の減少となっております。

また純資産は、四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加により739億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ125億1千4百万円の増加となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の連結業績を踏まえ、現時点において、通期の連結業績予想につきましては、平成25年9月5日に公表した予想数値に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社であった東和工建(株)は、当第1四半期連結会計期間に全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,496	11,125
受取手形及び売掛金	2,373	3,527
有価証券	100	100
たな卸資産	1,282	1,371
繰延税金資産	1,883	2,079
その他	1,114	4,868
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	19,247	23,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	214,256	212,918
減価償却累計額	△121,066	△122,676
建物及び構築物(純額)	93,189	90,242
機械装置及び運搬具	14,042	14,711
減価償却累計額	△11,046	△11,503
機械装置及び運搬具(純額)	2,996	3,208
土地	144,383	143,919
建設仮勘定	76	69
その他	19,382	19,672
減価償却累計額	△14,838	△15,325
その他(純額)	4,543	4,347
有形固定資産合計	245,189	241,786
無形固定資産		
借地権	425	425
ソフトウェア	228	322
その他	162	149
無形固定資産合計	816	897
投資その他の資産		
投資有価証券	24,566	34,021
長期貸付金	994	917
繰延税金資産	5,027	2,002
その他	3,194	3,112
貸倒引当金	△151	△146
投資その他の資産合計	33,631	39,906
固定資産合計	279,637	282,591
繰延資産		
社債発行費	1,806	1,540
繰延資産合計	1,806	1,540
資産合計	300,690	307,199

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	724	1,110
1年内償還予定の社債	28,995	27,000
短期借入金	29,259	28,665
未払法人税等	306	652
賞与引当金	376	763
ポイント引当金	139	155
商品券等引換引当金	7	5
固定資産除却等損失引当金	1,340	678
その他	14,795	26,486
流動負債合計	75,944	85,518
固定負債		
社債	62,605	47,276
長期借入金	60,370	60,720
受入保証金	3,652	3,323
繰延税金負債	86	91
再評価に係る繰延税金負債	30,809	30,760
退職給付引当金	3,273	3,139
執行役員退職慰労引当金	106	131
その他	2,387	2,267
固定負債合計	163,291	147,710
負債合計	239,235	233,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038	2,038
資本剰余金	777	777
利益剰余金	4,188	10,837
自己株式	△394	△460
株主資本合計	6,609	13,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,320	10,312
土地再評価差額金	50,977	50,888
為替換算調整勘定	△452	△423
その他の包括利益累計額合計	54,845	60,777
純資産合計	61,455	73,970
負債純資産合計	300,690	307,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)
売上高	61,264	62,325
売上原価	48,150	48,190
売上総利益	13,114	14,135
一般管理費	4,375	4,036
営業利益	8,738	10,098
営業外収益		
受取利息	46	53
受取配当金	321	309
為替差益	22	—
持分法による投資利益	32	42
その他	103	85
営業外収益合計	527	491
営業外費用		
支払利息	1,788	1,573
社債発行費償却	391	473
為替差損	—	21
その他	264	268
営業外費用合計	2,445	2,337
経常利益	6,821	8,252
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	—	32
子会社株式売却益	—	24
受取保険金	19	—
補助金収入	41	35
その他	12	—
特別利益合計	74	95
特別損失		
固定資産売却損	1	23
固定資産除却損	183	109
解体撤去費	90	86
特別損失合計	275	218
税金等調整前四半期純利益	6,619	8,129
法人税、住民税及び事業税	409	706
法人税等調整額	686	△91
法人税等合計	1,095	615
少数株主損益調整前四半期純利益	5,523	7,513
四半期純利益	5,523	7,513

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,523	7,513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	644	5,988
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	31
その他の包括利益合計	615	6,020
四半期包括利益	6,139	13,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,139	13,534

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	東京 ドーム シティ	流通	不動産	熱海	札幌	競輪	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	44,516	5,630	1,164	3,182	2,043	1,728	58,267	2,997	61,264	—	61,264
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	610	—	3	0	35	3	654	30	684	△684	—
計	45,127	5,630	1,168	3,183	2,079	1,732	58,921	3,027	61,948	△684	61,264
セグメント利益 又は損失(△)	11,194	△3	496	120	△11	130	11,927	79	12,006	△3,268	8,738

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、㈱東京ドームスポーツの指定管理者制度による運営受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,268百万円には、セグメント間取引消去46百万円、各報告セグメントに分配していない全社費用△3,314百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用のうち、総務・人事・施設部門等の全社的一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	東京 ドーム シティ	流通	不動産	熱海	札幌	競輪	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	46,069	5,455	1,124	3,284	2,140	2,036	60,110	2,215	62,325	—	62,325
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	706	—	3	1	20	1	732	41	774	△774	—
計	46,775	5,455	1,127	3,285	2,160	2,037	60,843	2,256	63,100	△774	62,325
セグメント利益 又は損失(△)	11,998	△56	384	220	36	473	13,055	112	13,168	△3,069	10,098

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、㈱東京ドームスポーツの指定管理者制度による運営受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,069百万円には、セグメント間取引消去40百万円、各報告セグメントに分配していない全社費用△3,109百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用のうち、総務・人事・施設部門等の全社的一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。